【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成25年3月28日(2013.3.28)

【公開番号】特開2009-8676(P2009-8676A)
【公開日】平成21年1月15日(2009.1.15)
【年通号数】公開・登録公報2009-002
【出願番号】特願2008-159814(P2008-159814)
【国際特許分類】
Ｇ２１Ｃ　19/02　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ２１Ｃ　19/02　　ＧＤＢＫ

【手続補正書】
【提出日】平成25年2月7日(2013.2.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
支持クランプアセンブリ（６０）を原子炉容器（１０）のジェットポンプ（１８）内で組み立てる方法であって、
ケーブル（１１２）を軸の第１の端部に取り付け、前記軸およびケーブルを下降させて前記ジェットポンプのエルボ導管（３４）および熱スリーブ（３２）内に入れるステップと、
少なくとも１つの前記熱スリーブ固締機器（６２、７０、７２）を前記ケーブルを下降させ、前記固締機器を前記軸上を滑らせるように案内するステップであって、前記固締機器が前記軸の第２の端部（８６）に押し付けられて当接するステップと、
前記固締機器を前記熱スリーブの内側表面（３８）に押し付けて着座させるステップと、
前記軸を前記エルボ導管の壁の開口部（１１８）を貫通して、前記固締機器から延ばすステップと、
固定機器（６６、６８）を前記エルボ導管内の前記開口部を貫通して延びる前記軸の前記第１の端部に取り付けるステップであって、前記固定機器が前記エルボ導管の壁の外側表面に隣接して前記軸に張力を加え、前記軸への前記張力が前記熱スリーブを前記エルボ導管の壁に向けて付勢する、ステップと、
を含むことを特徴とする組み立て方法。
【請求項２】
前記ケーブル（１１２）を前記ジェットポンプからの昇水管移行部内の開口部を通り延ばすステップと、前記軸、ケーブルおよび固締機器を前記開口部を通り、かつ前記昇水管、エルボ導管および熱スリーブの内側を通り挿入するステップとをさらに含むことを特徴とする請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記固締機器が１次十字形材（７０）および２次十字形材（７２）を含み、前記方法が前記ケーブルを前記１次十字形材内のベースを貫通して滑らせ、次いで前記２次十字形材のベースを貫通して滑らせるステップを含むことを特徴とする請求項２に記載の方法。
【請求項４】
前記固締機器がボスとナットを備え、前記軸の前記第１の端部を前記ボスの開口部を通

って滑らせ、前記ナットを前記ボスを貫いて延びる前記軸の前記第１の端部に取り付けることを特徴とする請求項１に記載の方法。